

キャラクター名 ジルベール	プレイヤー名
------------------	--------

種族	メリア	種族特徴	繁茂する生命		
生まれ	神官	性別	男	年齢	120
冒険者Lv	9	経歴	家族に異種族(木)が居る		
経験点	2610		手放せない小物がある 特定の異種族(木)を好んでいる		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	8	器用度	4			12	2
		敏捷度	3	1		12	2
体	8	筋力	6	5		19 + 2	3
		生命力	17	2		27 + 3	5
心	13	知力	1	13		27 + 1	4
		精神力	5	4		22	3

		技能	Lv.	技能	Lv.
		コンジャラー	2	ドルイド	4
		プリースト/ダリオン	8		
		レンジャー	9		
		エンハンサー	2		
		アルケミスト	2		
		ウォーリーダー	2		

戦闘特技				言語	会話	読文
治癒適性	2122p		p	交易共通語	○	○
不屈	2123p		p	魔動機文明語	○	○
ポーションマスター	2123p		p	魔法文明語	○	○
魔法拡大/数	1-289p		p	妖精語	○	
かばう	1-285p		p			
ガーディアン	1-279p		p			
MP軽減/プリースト	1-283p		p			
魔晶石の達人	2-230p		p			
	p		p			
	p		p			
	p		p			

[illegible]

技能	技能	基本	基本	基本追加	鎧と盾	ランク	筋力	回避力	防護点
	レベル	命中力	回避力	ダメージ					
ファイター	0				鎧 『自傷の』ドントレシアの堅忍鎧		20		7
グラップラー	0				盾 『定まらない』マナタイトタワーシールド		20		4
フェンサー	0				その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
シューター	0				回避技能		合計値	0	13

[illegible][illegible][illegible]

その他メモ	自動失敗 チェック
石榴のメリア。 かつて深い森の中に生まれ、50年ほど一人すっぽだカーニバル状態で森の木々や妖精たちとともに生きてきた。 その後たまたまその辺りを探索していたエルフのレンジャーに発見され、文明に触れることになる。 エルフとの交流を通して様々な事を学び、今自分が生きてきた森よりもずっと広大に世界が広がっていることを知り、 本能のまままだ見ぬ繁殖相手を探しに出ることにした。(故郷のめばいし相手は全員抱いたぜ、とは本人の談) ちなみに彼の好みタイプは枝ぶりが豊かな100歳以上の大木。 趣味は将来の美人を育てること(植林)である。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉙ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉛ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉞
基本的に貞操観念というものが1ミリもない。相手にも子供にも一切頓着しないタイプ。いわゆる恋愛はしたことがない。 街に降りたあと、知り合ったエルフの女性の告白を繁殖したいんだなと理解し、安請け合いたした結果ひと悶着起きており、その後人族を相手にするのは避けている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㊳ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㊵

